

令和 7 年度

神林スポーツフェスティバル

11月16日(日)に令和 7 年度神林スポーツフェスティバルが開催され、スポーツを楽しみながら、交流を深めました。



令和 8 年 1 月 1 日 現在
総世帯数 2,096 世帯
総人口 4,720 人
男 2,321 人
女 2,399 人



74人
参加

NEW

シャッフルボード



80人
参加

ストラックアウト



67人
参加

NEW

スマイル
ボウリング



60人
参加

グラウンドゴルフ



72人
参加

囲碁ボール



74人
参加

モルック



74人
参加

ボッチャ・わなげ



61人
参加

体力測定

鎖川

最近、「拭く活」という言葉を知った。掃除は苦手だが、おすすめ動画に表示されたタイトル「拭く活」がなぜか気になり視聴した。拭く活には特別なルールはなく、毎日の小さな積み重ねで住まいを居心地よく整えていきましょうというもので、手を動かすことでストレス発散になり、心が整う「心のリセット」効果が期待できそう。その方は「頭を空っぽにして目についた場所を光輝かせるように無心で拭く。集中力が高まる。磨きながら心も整っていく。今までの拭き掃除では得られなかった感覚だった。」と話していた。

拭く活の発信者の方は「三日坊主で終わってしまうと悩む方に向けて『三日坊主』ではなく『三日習慣』と捉え、『最低、3日間まずやってみる』から始め頻度を増やしていくと、やがてそれが習慣として定着していくはず」と話していた。三日習慣であれば出来そう!とやる気が出たのではないでしようか。皆さんも拭く活(＝福活)を暮らしに取り入れ、住んでいる家を大事にそして多くの福を呼び込みましょう。

地区新年祝賀会 爽やかに

1月3日、令和八年神林地区新年祝賀会、各種代表29人が参集し、10時に神林公民館大会議室で行なった。挨拶で神林地区町会連合会長の森村卓雄氏は「午の如く後ろもみずに神林らしい物を企画して行きたい」と抱負を述べ、地区相談役の上條温市議会議員は「これ迄の五つの課題の進捗状況を話し、市議会の情報改革度が全国4位になった」と結ばれた。塩原農業委員は「今、神林の農地・農業が減り



始め10年後を見据えて研修会を行なう予定だ」と話した。その後、恒例の「神林の歌」を二番迄、歌詞を見ながら大きな声で「七区の契り」を歌い、最後に丸山館長が万歳三唱の意味のひとくさりを語ると、ありったけの声で三唱し散会した。

神林にこの人あり! 18

吉澤文雄さん(86)(寺家町会)

南水寺の吉澤さんの自宅近くに、40年続けている箒作りのビニールハウスがある。

完成した箒のそばに細い糸が専用棒に巻かれ、これから編み込む作業が待っていた。吉澤さんは手慣れた手つきで



ホウキモロコシの束を細かくかなりの力で編み込み創られていった。そこに3年余り前に弟子入りした川西の筒井湧三さん(95)が見え「ホウキモロコシの栽培は、夏場に種蒔き、草取り、収穫、脱穀などをして、冬場に造っている」また「サトウキビの様な感じなので背が高く育ち刈り取りは大変なんだ」と話した。

弟子もできたので形も装飾美を追求したり形も現代調に自分の考えで新しいものを生み出せることがとても楽しいんだよ」と話しつつ箒を編み続けていました。

大豆がつなぐ松本の食育

菅野小学校2年生の取組み

古くから松本と関わりが深い「大豆」。2年生の生活科の学習で、子ども、教員、地域住民、公民館職員が力を合わせ、神林地区では初めて「まつもと дайず 大作戦」を行いました。

6月に小さな種をまいてから、一週間ほどで芽が出てきました。その後、夏の間にどんどん大きくなり、8月には紫色のかわいい花が咲き、9月になるとさやが膨らんでいきました。成長する過程を自分の目で見ること、命がどのように育つのかを学びました。

11月に自分たちで育てた大豆を収穫したとき、そして12月にそれを使って豆腐を作ったときの喜びは、何ものにも代えがたいもので、子どもた



ちの顔には大きな笑顔があふれ「やった! たくさん取れた!」と声があがりました。

この約7ヶ月間で、命の大切さ、農業の大変さ、神林地区の自然の素晴らしさを学ぶことができた子どもたち。教室を飛び出し、苦労しながら力を合わせて取り組むことで、本当に逞しくなったように感じました。今後も様々な学びを通して、より大きく成長して欲しいと願っています。

最後になりましたが、取組みに際しご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。特に、神林公民館運営委員長の田中様には、畝立てから雑草駆除、子どもたちへの手ほどきまで、あらゆる面でご尽力いただき、ありがとうございます。

神林公民館 羽田 大樹

ハタチの皆さん おめでとうございます

神林地区では52名が今年度ハタチとなります。

ハタチのコメント

Y・Sさん(南荒井)

二十歳という大きな節目を迎え、期待と責任を強く感じています。変化の激しい時代ですが、一歩ずつ自分の足で歩んでいこうと思います。今後は大人として視野を広げ、多方面で活躍できるよう頑張っていきたいと思っています。また、生まれ育った神林に貢献できれば嬉しいです。これからも温かく見守っていただければ幸いです。

キーワードはなに?

本誌神林版の記事内に散りばめられているキーワードを見つけて言葉にしてください。分かった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から抽選で5名に500円分のQUOカードをプレゼント! 締切は2月20日(金)。当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

よんひゃくごう

【今回のキーワード】

〇〇〇〇〇〇〇